

一般財団法人 地域創造
Japan Foundation for
Regional Art-Activities

公共ホール音楽活性化事業（おんかつ）

Artists Profile

登録アーティスト プロフィール

2023~2024

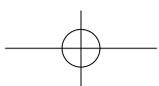
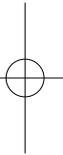
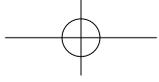
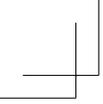


一般財団法人 地域創造
Japan Foundation for
Regional Art-Activities



目次

公共ホール音楽活性化事業・登録アーティストのご紹介……………	3
事業の枠組み……………	4
事業の流れ……………	5
アクティビティ&コンサートの実際……………	6
●登録アーティスト（順不同）	
今田 篤〔ピアノ〕……………	10
水谷 桃子〔ピアノ〕……………	12
上田 純子〔声楽・ソプラノ〕……………	14
西村 悟〔声楽・テノール〕……………	16
閑喜 弦介〔クラシック・ギター〕……………	18
カメハ〔パーカッションデュオ〕……………	20
Modétro Saxophone Ensemble〔サクソフォン四重奏〕……………	22



公共ホール音楽活性化事業・登録アーティストのご紹介

一般財団法人地域創造では、平成6年の財団創設以来、地域における創造的で文化的な芸術活動のための環境づくりを目的に、地方公共団体等との緊密な連携の下、財政支援、研修・交流、情報提供、調査研究などの事業に取り組んでおります。

その一環として地域創造が平成10年度から実施している「公共ホール音楽活性化事業」(以下「おんかつ」)は、地域の公共ホール等(以下「公共ホール」)との共催により、地域との交流を図る地域交流プログラムとホールでのコンサートを行うものです。地域創造からは、厳正なオーディションを経て登録されたアーティストと、コンサートの企画制作経験が豊富なコーディネーターを地域に派遣します。

クラシック音楽に馴染みのない方でも親しみやすく、かつ本格的なプログラムを、公共ホールと地域創造が共同でつくりあげます。

このたび、2023・2024年度の2年間、本事業でご活躍いただく7組のアーティストを紹介するプロフィール集を作成いたしました。活動歴や演奏可能なプログラムはもちろん、本事業でアーティストが公共ホールと共にどのような企画に挑戦したいかなど、公共ホールご担当者様が事業を企画される際に参考となるような情報を掲載しております。

多くの公共ホールご担当者様に本冊子をご活用いただき、“おんかつ”の実施をご検討いただければ幸いです。

令和5年4月

一般財団法人 地域創造

事業の枠組み

「公共ホール音楽活性化事業（導入プログラム）」（以下「おんかつ」。）は、地域の公共ホール等（以下「公共ホール」。）と本事業の登録アーティストが、アイデアを出し合い、その地域ならではのアクティビティ（地域交流プログラム）とコンサートを共同で企画・実施する事業です。

ACTIVITY

アーティストとの出会いの場をつくる

クラシック音楽の魅力を伝えるには、演奏会の他にもたくさんの方法があります。本事業では、普段、クラシックの演奏会へ足を運ばない人に、クラシック音楽やアーティストに興味を持ってもらうための様々な仕掛けを実施します。この仕掛けを本事業ではアクティビティ（地域交流プログラム）と呼んでいます。アクティビティは、いわばアーティストと地域の方々の出会いの場。学校や福祉施設などへの訪問コンサートやワークショップなど色々なケースが考えられ、通常2日間で4回実施します。

CONCERT

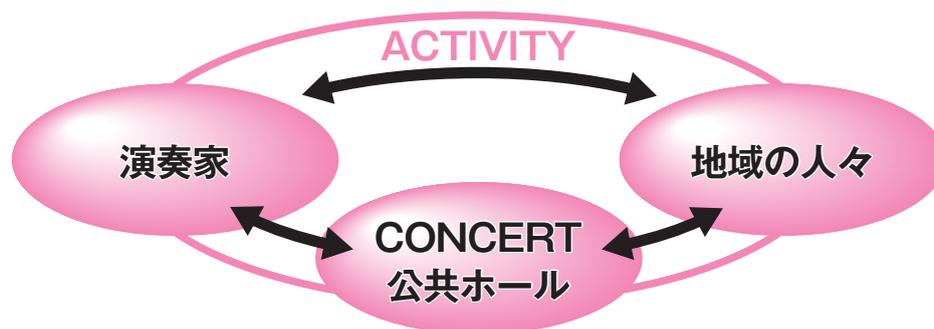
地域に身近なホールで、本格的なコンサートを

事業の締めくくりとして、ホールでのコンサートを開催します。アクティビティを通して触れ合った地域の人々に、アーティストが贈る本格的なコンサートです。アーティストの魅力とクラシック音楽ならではの生演奏の醍醐味を十分に堪能していただけます。

COMMUNITY & COMMUNICATION

音楽を活用したコミュニティづくり

本事業のアクティビティやコンサートは、アーティストと公共ホールの担当者はもちろん、学校の先生や地域の様々な人々の協力があってはじめて成立します。三者の継続的で親密な関係づくりを通じて、公共ホールの活性化を図り、音楽が身近にある豊かなコミュニティを育てていくこと。それが“おんかつ”の大きな目標です。



事業の流れ

事業実施までの流れを、実施団体（公共ホール等）が行う作業に沿って紹介します。

*1 登録アーティスト

全国オーディションにより登録アーティストを決定します（2年に1度）。

決定後、登録アーティストは「アーティスト研修会」に参加し、事業の趣旨と概要についての理解を深めます。

*2 コーディネーター

実施団体ごとに、各分野の専門家からなる本事業のコーディネーターを派遣し、事業をバックアップします。コーディネーターは事業の企画から準備、当日の運営まで、実施団体とアーティストに対し、事業が円滑に実施されるようアドバイスを行います。実施団体担当者は、随時コーディネーターと相談することができます。

実施団体の作業

●事業申込・決定

事業実施を希望する公共ホール等（以下「公共ホール」。）は、一般財団法人地域創造に対し翌年度の事業申込書を提出します。地域創造が各団体からの申請書類をもとに審査のうえ、「実施団体」を決定します。

●全体研修会／公開プレゼンテーションへの参加

実施団体担当者は、事業について理解を深めるための研修会に参加します。この研修会では、登録アーティスト*1による「公開プレゼンテーション」が実施されます。ここでのアーティストの演奏やトークを聴いて、実施団体は出演アーティストを検討します。

◆企画検討／スケジュール調整

全体研修会后、アクティビティとコンサートの企画を検討し、アーティストの担当マネジメントと日程を調整します。アーティストがベストの状態で開催できるスケジュールを組むことが重要です。

◆アクティビティ会場との交渉・決定

地域の学校、福祉施設などアクティビティ会場候補に開催を打診、調整を行います。また、調整を進める中で、地域のキーパーソンなど公共ホールの事業への協力者や、歴史や伝統といった地域資源の再発見を目指します。

●個別研修（事業実施の2～3ヶ月前）

担当コーディネーター*2などがアクティビティ及びコンサートの実施会場を訪れ、事前下見・打合せなどを行います。実施団体担当者は、担当コーディネーターから事業の円滑な実施のためのアドバイスを受け、事業の進め方を再確認することができます。

◆企画検討／スケジュール調整

個別研修の結果を踏まえ、アクティビティとコンサートの実施に向け、アクティビティ会場、アーティスト担当マネジメント及びコーディネーターなどと相談しながらスケジュール調整、実施計画書の作成などの準備を進めます。

◆広報宣伝

地域内外、マスコミなどにきめ細かく周知を行います。

●事業の実施（アクティビティ&コンサート）

アーティストが4～5日間程度地域に滞在し、アクティビティとコンサートを行います。

アクティビティ & コンサートの実際



コミュニケーションを重視した小学校でのアクティビティ



福祉施設などでも、対象者に沿ったプログラムを行います

ACTIVITY

アーティストとの出会いの場

●子どもたちとの身近な交流

未来の聴衆となる子どもたちが、クラシック音楽と出会うミニコンサート。音楽室や教室など、アーティストの息づかいが感じられるような小さな会場で開催します。

子どもたちはとても感性豊か。敏感に、ダイレクトに反応します。プロのテクニックと生の音の迫力に、子どもたちから歓声があがる場面も。アーティストも真剣勝負です。

●病院、福祉施設など対象者に沿ったプログラム

病院、特別養護老人ホーム、特別支援学校など、ホールへ足を運ぶことが難しい方々の所へ出向き開催するコンサート。「元気をもらいました」「こんな楽しいのは久しぶり」実は、一番音楽を待っている方々かもしれません。

●雰囲気を変えて

ホワイエや美術館など、ホールとは異なる雰囲気の中で音楽を体感していただけます。「クラシックは堅苦しくて」と“食わずぎらい”の方々に、「食べてみようかな」と思ってもらえるかどうか、アイデアが問われます。

●参加者と共に表現する

地域の音楽愛好家だけではなく、音楽初心者も誰もが参加できるコミュニケーション重視のプログラム。参加者がプロと一緒に音楽に向き合うことで、音楽の魅力を改めて発見できる場を目指します。

●他のジャンルとの組み合わせ

絵画や写真、朗読、パフォーマンス、伝統芸能などと演奏を組み合わせたコンサート。これまでには絵本の読み聞かせと演奏を組み合わせたコンサートなどの実績もあります。「こんな事をやってみたい！」というアーティストのアイデアを少し冒険して実現してみる。クラシック音楽の新しい可能性が広がるかもしれません。

これまでのアクティビティとコンサートの一例をご紹介します。
 この他、地域独自の多様なアクティビティ&コンサートが行われています。



アクティビティを活用して、地域資源の再発見も



締めくくりは、本格的で親しみやすいコンサート！

CONCERT

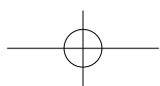
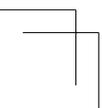
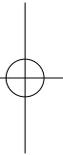
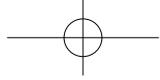
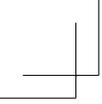
地域に身近なホールで本格的な音楽を

●コンサート

ホールでのコンサートは、アーティストがその技術と想いをかけて、生演奏の醍醐味をお客様に届ける場です。クラシックコンサートの常識にとらわれず、初心者にも、愛好家にも、出演アーティストの想いが一番よく伝わるプログラムをアーティストとホールが共につくります。

あなたの地域に 寄りそったオリジナルの 事業をつくってみませんか？

ここに示しているのはほんの一例です。本事業は、公共ホールの担当者とアーティストがダイレクトに意見を交換し、企画を組み立てるオーダーメイドの事業です。アイデア次第でアクティビティ&コンサートの可能性は広がります。



公共ホール音楽活性化事業（おんかつ）

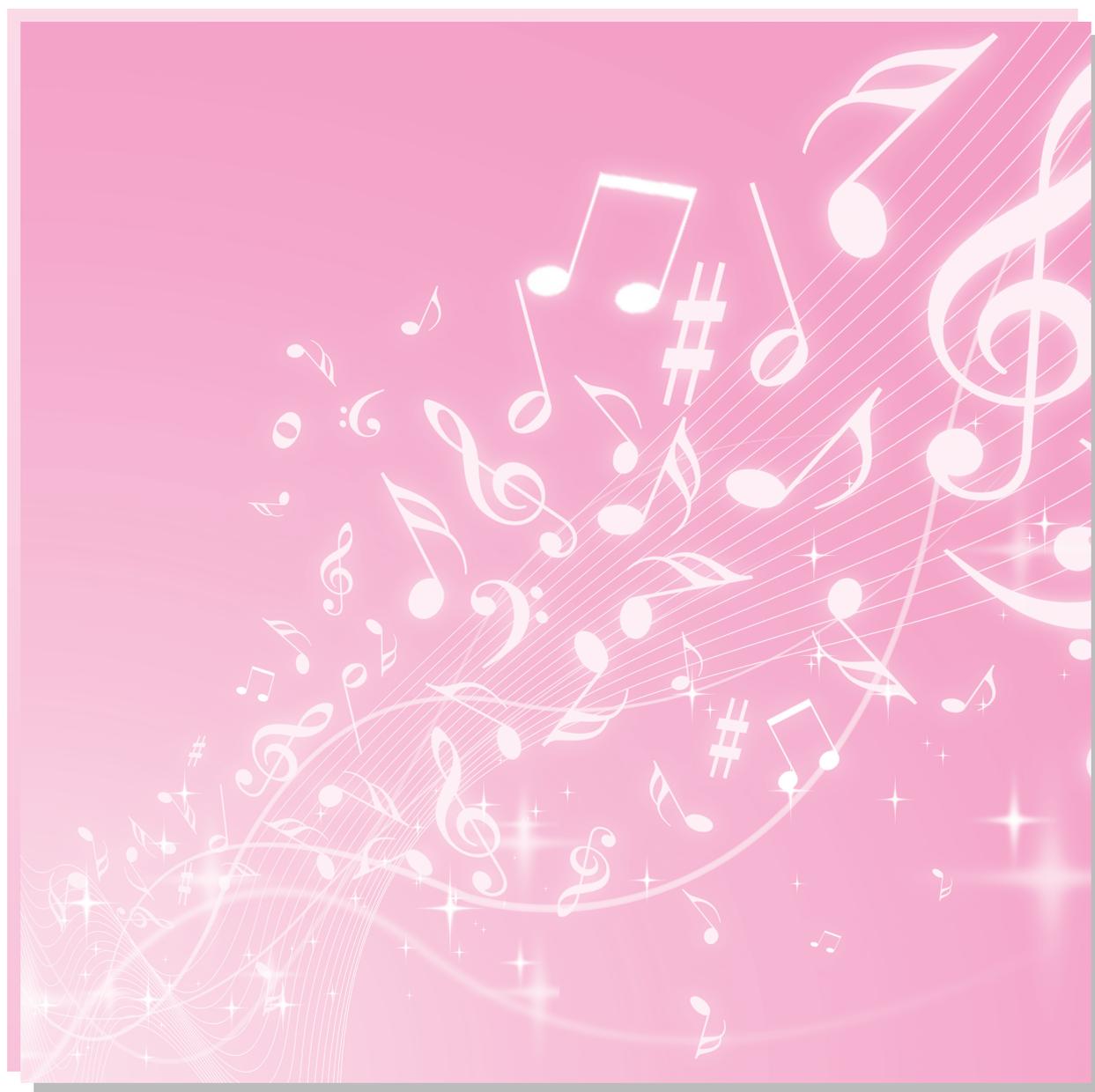
Artists Profile

登録アーティスト プロフィール

2023~2024



一般財団法人 地域創造
Japan Foundation for
Regional Art-Activities



1 Artist File

Atsushi Imada,
Piano



今田 篤

(いまだ あつし)

●ジャンル

ピアノ

●所属マネジメント

株式会社ミリオンコンサート協会
〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-21-10-702
TEL : 03-3501-5638 FAX : 03-3501-5620
E-mail : classic@millionconcert.co.jp

■担当マネージャー

和田 健美 E-mail : wada@millionconcert.co.jp
岩永 直也 iwanaga@millionconcert.co.jp

●アーティスト在住地

静岡県掛川市、埼玉県蕨市

●アーティスト出身地

静岡県掛川市

プロフィール

音楽研鑽歴

2013年 東京藝術大学音楽学部卒業。
2016年 英国王立音楽大学演奏修士課程修了。
2017年 東京藝術大学大学院研究科修了。
2020年 ライブツィヒ音楽演劇大学演奏家課程修了。

音楽活動歴

2016年エリザベート王妃国際音楽コンクールピアノ部門においてファイナリスト入賞。2018年第10回浜松国際ピアノコンクール第4位。その他日本音楽コンクール、東京音楽コンクール、ピティナピアノコンペティション特級、全日本学生音楽コンクール他国内外のコンクールにて入賞及び優勝。

これまでにベルギー国立管弦楽団、ハリコフフィルハーモニー、サンパウロ青少年交響楽団、読売日本交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、他国内外のオーケストラとの共演多数。日本国内の他、英国、フランス、ドイツ、ベルギー、アゼルバイジャン、ウクライナ、ブラジルにて演奏する。

そのほかブリュッセル・ピアノ・フェスティバルや横浜市招待国際演奏会等の著名な音楽祭に出演。

2008年度一般財団法人ヤマハ音楽振興会音楽支援奨学生。2011年、2014年度公益財団法人ロームミュージックファンデーション奨学生。2013年度宗次エンジェル基金/新進演奏家国内奨学金奨学生。2017年芸術・文化、若い芽を育てる会奨励賞。明治安田クオリティオブライフ奨学金奨学生。

2018年ベルギーショパン協会賞受賞。

2021年ファーストアルバム「it's time シューマンピアノ作品集」をリリース。音楽現代において推薦盤、レコード芸術において準特選盤に選定される。

公式サイト <http://atsushi-imada.com/>

公式 Twitter <https://twitter.com/aimada0830>

自己アピール

僕は3歳からピアノを始め、それ以来30年近くずっとピアノとともに生活してきました。特に高校入学後に東京へ上京してからは更にピアノが生活に占める割合が増し、常に生活の中心に音楽がありました。いつも楽しかった訳ではなく、むしろ辛いことや苦しいことの方が多く、ピアノを辞めてしまおうか考えることも少なくありませんでしたが、毎回音楽の魅力に惹きつけられ、気がつくたびにピアノの前に座って練習する日々の連続でした。音楽の魅力とは不思議なもので、演奏会を何度経験しても飽きることがなく、より深く作曲家やその音楽について知りたいと強く思うようになりました。その音楽の魔力を聴いていただくお客様と一緒に共有したいと思いますし作品の持つ世界観を伝えることのできる演奏家になりたいと、常日頃から思っております。

僕はどのジャンルの音楽も好きですが特にドイツロマン派の作品に強く惹かれるようになり、その中でもシューマンの作品は自分にとって特

別な存在であります。高校入学後はシューマン演奏の第一人者でもある伊藤恵氏、留学先でもドイツロマン派の演奏で定評のあるドミトリー・アレクセーエフとルーステム・サイトクーロフ、ゲラルド・ファウトの各氏のもとで英国とドイツ、そしてフランスにて5年間勉強し、ロマン派の演奏には絶対的な自信を持っています。自分自身のシューマンの演奏の特徴は、多彩な音色と作品の持つ二面性の対比です。このシューマンの二面性こそがこの作曲家の最大の魅力であると考えており、ロマン派の中では難解と思われがちな作品も、自分の演奏を通して興味を持っていただけるよう魅力を引き出すことのできる演奏を目指してまいります。ロマン派以外にもバロックから近現代まで勉強してきました。それぞれの時代の代表的な作品を通して、時代背景やスタイルを感じていただけるようプログラムを工夫していきたいと思っております。

この事業でできること、挑戦してみたいこと

アウトリーチの活動を通して、音楽好きの方にも今まで音楽に親しみのなかった方々にも、もっと音楽が好きになるプログラム、また音楽を聴きたいと思うようなプログラムにしていきたいと考えています。クラシック音楽は一般的に敷居の高いものとされていますが、そういった作品ばかりではなく、テレビのCMで流れるものであったり、ドラマや映画で使用されている作品もあり、日常生活において意識していないだけで、数多くのクラシック作品に触れていると思います。そういった作品をクイズ形式やゲームを交え楽しみながら演奏を聴くことによってクラシックへの苦手意識を払拭し、より音楽や歴史に好奇心を持ってもらえるようなエピソードなどもお話ししていきたいと思っております。音楽はスポーツのように、演奏する人も鑑賞する人も誰でも楽しむことのできるものを感じていただきたいです。またクラシック音楽の歴史は楽器の進化とともにありました。皆さんの知っているピアノという楽器は昔からずっ

と同じ形ではなく、徐々に変わっていき100年ほど前に現在とほぼ同じ形になりました。楽器と作曲家がお互いに刺激を受け合い様々な作品が誕生しており、それを堅苦しくなることなく演奏を通して感じていただき、楽器の魅力もお伝え出来るようにしたいと考えています。美的感覚が時代や作曲家のバックグラウンドによっても変わることに注目し、様々な美しさや感情、そして価値観が存在することも伝えていきたいと思っております。

コンサートではドイツに留学した経験やロシア人ピアニストのもとで勉強してきたことを活かして、シューマンを中心とするドイツロマン派やロシアの美しい小品、そして聞き馴染みのある作品から自分が心から感動する作品を全身全霊で演奏し、音楽の持つ圧倒的なパワーや神秘的な世界観、言葉では表現することのできない感動体験を味わっていただきたいと思っております。

演奏可能プログラム

J.S. バッハ：平均律クラヴィーア曲集 第1巻 第1番
 J.S. バッハ＝ラフマニノフ：無伴奏パルティータ第3番
 モーツァルト：ピアノソナタ イ短調KV.310、イ長調KV.331、ハ長調KV.545、ニ長調KV.576、きらきら星変奏曲、ロンド ニ長調KV.485、ロンド イ短調KV.511
 ベートーヴェン：ピアノソナタ第8番 Op.13「悲愴」、ピアノソナタ第14番 Op.27-2「月光」、ピアノソナタ第15番 Op.28「田園」、ピアノソナタ第23番 Op.57「熱情」
 シューベルト：楽興の時 D.780、即興曲 Op.142
 シューマン：子供の情景 Op.15、幻想小曲集 Op.12、ウィーンの謝肉祭の道化 Op.26、謝肉祭 Op.9、アラバスク Op.18

ブラームス：パガニーニの主題による変奏曲 Op.35、間奏曲 Op.118-2
 ショパン：スケルツォ第1番、第2番、バラード第1番、第3番、英雄ポロネーズ Op.53、練習曲 Op.10、Op.25、ノクターン Op.9-2、Op.15-2 ほか
 リスト：メフィストワルツ第1番 S.514、ピアノソナタ S.178、3つの演奏会用練習曲より第2曲「軽やかさ」、愛の夢第3番
 ドビュッシー：小さな黒人、アラバスク第1番、月の光、前奏曲集より「花火」、夢
 ラヴェル：水の戯れ、クーブランの墓
 ラフマニノフ：前奏曲 Op.23-4、楽興の時 Op.16
 プロコフィエフ：ピアノソナタ第7番 Op.83

2 Artist File

Momoko Mizutani,
Piano



水谷 桃子

(みずたに ももこ)

●ジャンル

ピアノ

●所属マネジメント

MIYAZAWA & Co.

〒150-0043

東京都渋谷区道玄坂 1-12-1 渋谷マークシティ W22 階

TEL : 03-4360-5508

E-mail : hirabayashi@miy-com.co.jp

■担当マネージャー

平林 直昭

●アーティスト在住地

東京都文京区

●アーティスト出身地

兵庫県神戸市

プロフィール

神戸市生まれ。

東京藝術大学を経て、東京藝術大学大学院修士課程修了。現在、昭和音楽大学附属ピアノアートアカデミー在籍。2006年第11回浜松国際ピアノアカデミーコンクール第4位。

2007年第5回東京音楽コンクール第2位。

2008年第32回ピティナピアノコンペティション全国決勝大会特級準金賞。

2009年第13回松方ホール音楽賞受賞。

2012年ニューヨーク・ドロシーマッケンジーコンクール優勝。

2011年度よりヤマハ音楽奨学生、2013年度青山財団奨学生、2015年宗次エンジェル基金奨学生、2021・2022年伸和コントロールズ奨学生。

15歳の時に中村絃子氏の推薦により水戸にて初めてのリサイタルを行う。

これまでに小林研一郎、広上淳一、梅田俊明、山下一史、キンポー・イシイ・エトウ、現田茂夫、沼尻竜典、角田鋼亮、ケン・シェ、岩村力、ダグラス・ボストックの各氏指揮、日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団、東京ニューシティー管弦楽団、大阪交響楽団等と共演。

2013年ジェローム・ローズ氏の招きでIKIF音楽祭若手アーティストリサイタルシリーズにてニューヨークリサイタルデビュー。

これまでにクラウディオ・ソアレス、迫昭嘉、故中村絃子、江口文子の各氏に師事。

自己アピール

私は14歳の時に故中村絃子先生との出会いがあり、人生の約半分を演奏活動に従事してきました。

十代半ばから勿体ないような一流のオーケストラ、偉大な指揮者の皆様方と共演させて頂き、その時は恐いもの知らずでしたが、大人になった今、思い返すたびに悪い汗をかいています。

まるで音楽バカのような少女時代を過ごし、お定まりの芸術大学へ進学し、本当に平凡な普通のピアニストとして生活してきましたが、世間の平均よりほんの少し早めに結婚、出産を経験し、又、そのためにピアノから離れた時期を過ごした結果、音楽への欲望を掻き立てられたと言いますか、演奏する事を渴望し、かえて音の世界が深まったように感じています。

そうなると音楽に対する畏敬の念が増し、かつては考えられなかったほど本番への怖さと喜びを覚え、より丁寧に心と体の準備をするように

なりました。

かつて中村絃子先生が「本番に大きい小さいもないのよ」と仰ったこと、「楽しんで弾こうと思っちゃダメ！」と仰ったこと等がピアノに向かうたびに甦る日々です。

ピアノと距離を置いていた時期には、これからはゆるやかに音楽愛好家として生きていこう、と思っていたのも事実で、だからこそ聴衆の皆様との立場やお気持ちも理解できるようになってきた、と自負しています。

本格的な演奏技巧を維持しながら、決して肩の凝らないインパクトのあるコンサートやアウトリーチを安定的に提供すべく真摯に取り組んでいきたいと思っています。

この事業でできること、挑戦してみたいこと

本事業では聴き手の年齢や地域性が予め特定されることが多く、事前の準備によって求められているものを想定しやすいのでは、と思います。

例えば小学校低学年向けのアウトリーチならばあまり長くない曲、TVのコマーシャル等で使用されている聞き覚えのある曲を中心に、声や手拍子、足拍子等を動かす要素を入れて参加できる形を考えています。

高学年になれば、その地域や日本全体の歴史を絡めて印象的な出来事と同時期にヨーロッパで作られた曲等、少し具体性をもたせた曲選びをして興味をもって受け入れてもらえるよう工夫したいと思っています。

音楽への入口を低く広くすることが役目だと心得ていますので、決して一方的にせず肩肘張らずに取り組みたいと思っています。

又、コンサートの機会を頂きました折には、ポピュラーな選曲の中に

も本格的なクラシックの醍醐味を味わってもらえるよう経験とレパートリーを駆使して子供から大人まで、クラシック初心者から専門家まで聴き応えのある演奏会となるよう努力を惜しまない事をお約束します。

小さな子供を育てている関係上、私自身幼児期や学童期のクラシック音楽への導入に頭を悩ませる事もしばしばです。

それは必ずしも学校教育や習い事だけではカバーできない、とも感じています。

私を通じての体験が、子供達に（できたら大人達にも）小さな足跡を残すことができたなら…こんな嬉しい事はありません。

一般的なコンサート経験しかない私にとって、すべてが挑戦ですが手を抜かず喜びをもって精進したいと思っています。

演奏可能プログラム

リスト：ラ・カンパネラ、愛の夢
モーツァルト：トルコ行進曲
シューマン＝リスト：献呈
シューマン：トロイメライ
ショパン：幻想即興曲、英雄ポロネーズ、仔犬のワルツ、別れの曲
ベートーヴェン：ピアノソナタ第30番、第31番

ラフマニノフ：コレルリの主題による変奏曲
シューマン：交響的練習曲
ショパン：ピアノソナタ第2番「葬送」
ピアノソナタ第3番
リスト：リゴレット（演奏会用パラフレーズ）
クライスラー＝ラフマニノフ：愛の悲しみ、愛の喜び など

3 Artist File

Junko Ueda,
Soprano



© FUKAYA Yoshinobu/auraY2

上田 純子

(うえだ じゅんこ)

●ジャンル

声楽 (ソプラノ)

●所属マネジメント

株式会社二期会 21

〒151-0051

東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-25-12

TEL : 03-3796-4711 FAX : 03-3796-4710

E-mail : shirani@nikikai.net

■担当マネージャー

白仁 和文

●アーティスト在住地

栃木県真岡市

●アーティスト出身地

栃木県真岡市

プロフィール

音楽研鑽暦

国立音楽大学音楽学部声楽専攻卒業。

同大学大学院音楽研究科声楽専攻 (オペラコース) 修了。

新国立劇場オペラ研修所 第11期修了。

平成24年度文化庁新進芸術家海外研修生として渡英、

Wales International Academy of Voice 修士課程修了。

さわかみオペラ芸術振興財団の助成を受け渡伊、トリエ

ステ・ヴェルディ歌劇場、ボローニャ市立劇場でそれぞれ

研鑽を積む。

依田 喜美子、小笠原 茂子、福井 敬、片岡 啓子、

Marcella Reale, Sergio Bertocchi, Brian Masuda,

Dennis O' Neill, Nuccia Focile, Nelly Miricioiu

各氏に師事。

Kiri Te Kanawa, Elizabeth Connel, Richard

Bonyngue 各氏のマスタークラスを受講。

コンクール受賞歴

第38回イタリア声楽コンコロソ ソプラノ特賞。

第30・31回 国際ハンス・ガボア・ベルヴェデーレ声楽コンクール オペラ部門 日本代表。

第14回 世界オペラ歌唱コンクール「新しい声2011」アジア代表。

第8回東京音楽コンクール 声楽部門 第1位。

第21回コンセル・マロニエ21 声楽部門 第3位。

音楽活動歴

これまでに、Simone Young、円光寺 雅彦、小林 研一郎、

阪 哲朗、原田 慶太楼など著名指揮者のもと、東京フィル

ハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、

東京交響楽団、東京都交響楽団など国内主要オーケストラ

と共演し好評を博す。

オペラでは、『魔笛』侍女I、『ラ・ボエーム』ミミ、『ドン・

カルロス』エリザベータ、『ファルスタッフ』アリーチェ、『ト

スカ』トスカ、『外套』ジョルジュッタ、『トゥーランドット』

リュウ、『道化師』ネッダ、『ラインの黄金』フライア、『ナ

クソス島のアリアドネ』エコー、『カルメン』ミカエラ、『カ

ルメル会修道女の対話』ブランシュ、『こうもり』ロザリ

ンデ、『天国と地獄』ダイアナ役などで出演。

コンサートでは、バッハ『クリスマス オラトリオ』、ベートー

ヴェン『第九』等のソリストを務める。

自己アピール

今日までの大学・大学院での学び、そして国内・国外の劇場で演奏活動を積み重ねてきた中で、音楽には人々の心を豊にし、生き方をも変えるポジティブな力があると確信しております。

実際に私も初めて生でオペラを観劇した際に、マイクなしで会場いっぱい響き渡る表情豊かで圧倒的な歌声、豪華絢爛な舞台装置・衣装、オーケストラの奏でる音楽と共にストーリーが劇的に進行していく様子が心に引き込まれ、魅了されました。

誰もが持つ『声』という楽器で、一瞬の時に多くの人々を感動に包み、

そして喜びを引き出せる、なんて素晴らしい職業なんだ、私も舞台上立つ側の人間になりたい！と声楽家を志し、今日に至っております。

多くの方々に、本格的なクラシック音楽を通して、音楽にふれる喜び、生きがい、バイタリティーなどを提供できるよう、私の声、個性を生かした、私にしかできないオンリーワンのアクティビティ、コンサートをそれぞれの地域の方々と寄り添い、一緒に創り上げていきたいと考えております。

この事業でできること、挑戦してみたいこと

世界中のどこを探しても同じものはない、世界にひとつしかない一番身近な楽器である『声』の魅力をお伝えできたらと思っております。

【アクティビティ】

・声の魅力

聞き馴染みのある曲を演奏し、『声』そのものを聴いていただく。

・オペラの魅力

- 1) オペラの曲のみを演奏する。
- 2) 小道具や衣装をつけて演奏する。
- 3) 日本語訳の歌詞の曲を演奏する。
- 4) 演技がつくことによって、1)～3)とどのように違うのか。
 - ①音楽つきで、曲の歌詞だけを、日本語で朗読しながら演じる。
 - ②同じ曲を原語、演技付きで演奏する。
- 5) 上記1)～4)の経過を踏まえ、実際の舞台と同じように、原語、演技付きで演奏する。

・歌曲の魅力

- 1) 聞き馴染みのある歌曲を演奏する。
- 2) 歌詞なしの歌曲を演奏する。
- 3) 原語と日本語での違い。
 - ①日本語訳での演奏する。
 - ②同じ曲を原語で演奏する。

対象者の中には、クラシック音楽に初めてふれる方も多くかと思ます。わかりやすい解説を挟みながら、ただ聴くだけではなく、対象者の方々の興味を引き出し、音の先にあるものを感じ取っていただく、想像力、

創造性にアプローチしていけるような構成を考えております。

また対象者の年齢、環境などに合わせてフレキシブルなプログラムを構成していきたいと考えております。

・体験コーナー

- 1) 歌に重要な腹式呼吸を体験しよう！
 - ①私の身体を触って、腹式呼吸を体感してもらう。
 - ②腹式呼吸と胸式呼吸の違いをレクチャーののち、対象者に実施してもらい、違いを体感してもらう。
- 2) プレスコントロールを体験しよう！
私が普段実施しているプレスコントロールをレクチャーののち、対象者と一緒を実施する。
- 3) オペラの登場人物になってみよう！
オペラでは、相手役が歌っている間、歌わずに演技だけ行う場面もあります。
対象者にその役になっていただき、その場面を演奏する。

など

【コンサート】

昨今では、オンラインや動画などでも様々なコンサートを視聴することは可能ですが、真の『声』の魅力は、生演奏に勝るものはないと確信しております。

私の個性を生かし、楽しかっただけでなく、印象に残る、心に触れるようなコンサートをお届けしたいと思っております。

プログラム構成の際には、観衆の方に寄り添った、地域の方々のリクエストなども積極的に取り入れていきたいと考えております。

演奏可能プログラム

【日本歌曲】

文部省唱歌：故郷
成田為三：浜辺の歌
山田耕作：この道、赤とんぼ
團伊玖磨：花の街
中田喜直：夏の思い出
武満徹：小さな空
寺島尚彦：さとうきび畑 など

【歌曲】

イギリス民謡：アメージング・グレイス
ナポリ民謡：オー・ソレ・ミオ、サンタ・ルチア
モーツァルト：アレルヤ
シューベルト：子守唄、魔王
リスト：愛の夢
バッハ/グノー：アヴェ・マリア

ラフマニノフ：ここは素晴らしい場所 など

【アリア】

ヘンデル：『セルセ』 オンブラ・マイ・フ
モーツァルト：『フィガロの結婚』 恋とはどんなものかしら
ヴェルディ：『椿姫』 さようなら、過ぎ去った日々よ
ブッチーニ：『ラ・ボエーム』 私の名前はミミ
『トスカ』 歌に生き、愛に生き
『ジャンニ・スキッキ』 私の愛しいお父さん
グノー：『ファウスト』 宝石の歌
ドヴォルザーク：『ルサルカ』 月に寄せる歌
レハール：『メリー・ウィドー』 ヴィリアの歌
ヨハン・シュトラウス2世：『こうもり』 チャールダッシュ など

上記以外に、演奏先の地域にゆかりのある作詞家、作曲家の曲も積極的に取り入れてプログラムを構成したいと考えております。

4 Artist File

Satoshi Nishimura,
Tenor



©T. Tairadate

西村 悟

(にしむら さとし)

●ジャンル

声楽 (テノール)

●所属マネジメント

株式会社ジャパン・アーツ

〒150-0002

東京都渋谷区渋谷 2-1-6

TEL : 03-3499-8100 FAX : 03-3499-8102

■担当マネージャー

芹澤 桃子 E-mail : serizawa@japanarts.co.jp

小松 和義 E-mail : komatsu@japanarts.co.jp

●アーティスト在住地

埼玉県新座市

●アーティスト出身地

千葉県千葉市

プロフィール

音楽研鑽歴

日本大学芸術学部音楽学科卒業、東京藝術大学大学院オペラ科修了。

第36回イタリア声楽コンクール、ミラノ部門大賞、副賞でポローニャ音楽院へ留学。

文化庁新進演奏家海外研修員としてイタリア・ヴェローナに留学。

第17回リッカルド・ザンドナーイ国際声楽コンクール第2位、審査委員長特別賞。

第80回日本音楽コンクール第1位、岩谷賞。

平成25年度五島記念文化賞オペラ新人賞、第23回出光音楽賞。

音楽活動歴

2013年藤原歌劇団公演「椿姫」にアルフレード役でオペラデビュー。これまでに「ルチア」「仮面舞踏会」「蝶々夫人」いずれも藤原歌劇団公演にてプリモテノールで出演。他にも新国立劇場「夜叉ヶ池」、日生劇場「魔笛」、びわ湖ホール「ラインの黄金」に主要キャストで出演。またNHKニューイヤーオペラコンサートや東急ジルヴェスターコンサート、題名のない音楽会などメディア出演も多数。

オーケストラとの共演も多く、水戸室内管弦楽団とブリテン「ノクターン」、スイス・ロマン管弦楽団とメンデルスゾーン「讃歌」、ケルン放送管弦楽団とベートーヴェン「第九」、日本フィルハーモニー交響楽団とマーラー「大地の歌」、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団とベルリオーズ「ファウストの劫罰」、バッハ・コレギウム・ジャパンとヘンデル「メサイア」いずれもテノールソロで出演。さらに新日本フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、山形交響楽団、京都市交響楽団等々、国内外のオーケストラと共演。

2016年にはスペインにてバルセロナ交響楽団と共演しヨーロッパデビュー。

オペラだけではなく近年ではドイツ歌曲にも力を入れ、ベートーヴェン、シューベルト、シューマンそれぞれの連作歌曲を公演。

Twitterアカウント @SatoshiNishimu5

<https://twitter.com/SatoshiNishimu5>

自己アピール

「夢だけでは食べていけないよ」今までに何度かこのように言われたことがあります。その時私はこう答えます。「そうかもしれませんが、でも夢がなければ生きられません」。

幼少期私の夢は音楽家ではありませんでした、むしろクラシックの知識はほぼゼロ、音楽家という職業すら知りませんでした。毎日野球に明け暮れ、サッカー部にも所属し、学校から帰るとすぐに学校へ戻り仲間と遊ぶ毎日。当時の夢はもちろんプロ野球選手でした。中学に入るとバスケットボールに夢中になります。千葉県の実験選手に選考され、県代表としてアメリカ・ニューヨークでのNBAチームのキャンプに参加し、高校進学も東海大学付属浦安高校へスポーツ推薦で入学しました。運動部の寮に入り3年時ではキャプテンとして全うしました。もちろん夢はプロバスケットボール選手。しかし、全国大会に出場することが叶わず夢を断念。ここで立ち止まった時新たな夢が生まれました。「音楽の先生になって、バスケ部の顧問になり全国大会に行こう」。当初無謀だ

とも知らず、音楽の先生になる方法を探りました。音大へ行かなくてはならないことを知り、そこで初めて声楽と出会いました。これが私の「歌」との出会いです。奇跡的に現役で大学に合格し教師になる準備を始めました。歌の道を極めたい！そう思うようになった頃から私の夢は「オペラ歌手」へ変わり、今は夢が実現し精進する毎日です。

生まれてから今まで、私には必ず夢がありました。高3の夏から音大を目指す無謀とも思える行動も、夢を持っていたから苦も無くできていたのでしょう。夢を持つと、目標ができます、そして課題が見え、達成に向け努力するのです。私の人生はその繰り返しでした。今は幸せなことに私の歌を楽しみにしてくれる方々もいます。夢は周りの人をも幸せに出来る事も知りました。夢は私の人生の支えであり、糧であり楽しみを与えてくれるもの、これを音楽に託し沢山の方にお届けしたいと思います。

この事業でできること、挑戦してみたいこと

クラシックはなぜあまり知られていないのか。その答えは簡単です！触れる機会がないからです。食べたこともない料理を好きですという人はほとんどいません。しかし、その料理を食べてみたいと思う人はたくさんいるのではないのでしょうか。ではどうすれば良いのか。全国様々な場所に公共のホールや集会場が存在します。よく知る場所で音楽会が手ごろな値段で味わえるとなれば、初めての方は足を運びやすいかもしれません。本物の音楽で親しみやすく温かい音楽会が開かれるとなれば、それが日常の楽しみになるかもしれません。私はかねてからクラシックの楽しさをもっと知ってほしいと思っていました。それを叶えるべく、「劇場にお越しくださいというよりも、皆様の街に音楽会をお届けします！」これを今回のコンセプトとしました。初めての方も好きな方も満足できるコンサートを開催したいと思います。私の歌を聴き、もう一度聞きたい、今度はオペラを見てみたい、ほかの歌手も聞いてみたい、東京の劇場に

行ってみたい等々。そんなお客様を一人でも増やすことが出来たら大成功です。魅力ある様々なプログラムで皆様をお迎えいたします。どうぞクラシック音楽という西洋料理を味わってみてはいかがでしょうか。

ホールの公演だけでなく、街中に飛び出し、学校・施設で音楽を楽しむ場も作りたいと思います。学校では、「夢」を持つことの大切さを伝える授業を、私の体験談とメッセージを込めたこだわりの選曲で届けたいです。「夢が叶わなくとも夢に向かうことで人間は成長する、そうして人生は開けてくる」。失敗も成功も経験した私だからこそ伝えられるものがあるはず。それを少しでも感じてもらえるよう等身大の自分を見ていただこうと思います。様々な方に生きる希望や光を感じていただける企画や構成を携え、皆さんで楽しめる場を作っていきたいと思います。

演奏可能プログラム

オペラアリア

ドニゼッティ：「愛の妙薬」より「人知れぬ涙」
ヴェルディ：「リゴレット」より「女心の歌」
グノー：「ロメオとジュリエット」より「昇れよ太陽」
プッチーニ：「トスカ」より「星は光りぬ」
プッチーニ：「トゥーランドット」より「誰も寝てはならぬ」
レハール：「微笑みの国」より「君こそわが心の全て」 等

歌曲

トスティ：マレキアーレ
ベートーヴェン：アダライーデ
シューベルト：魔王 等

連作歌曲

ベートーヴェン：遙かなる恋人に寄す op.98

シューマン：詩人の恋 op.48
シューベルト：美しき水車小屋の娘 D795

日本歌曲

山田耕筰：待ちぼうけ
小林秀雄：落葉松
越谷達之助：初恋
武満徹：小さな空
前田佳代子：ありがとう（委嘱作品） 等

ミュージカル

バーンスタイン：「ウエストサイド・ストーリー」より「マリア」
ロジャース：「回転木馬」より「You'll never walk alone」
シェンベルク：「レ・ミゼラブル」より「彼を帰して」 等

5 Artist File

Gensuke Kanki, Classical Guitar



閑喜 弦介

(かんき げんすけ)

●ジャンル

クラシック・ギター

●所属マネジメント

新演コンサート/株式会社カモシタピアノ
〒160-0022
東京都新宿区新宿 1-10-3 太田紙興新宿ビル1階
TEL : 03-6384-2498
FAX : 03-6384-2483
E-mail : desk@shin-en.jp

■担当マネージャー

鴨下 ゆかり、前田 修、保科 淳子、清野山 和

●アーティスト在住地

東京都世田谷区

●アーティスト出身地

大阪府高槻市

プロフィール

3歳で父からギターの手ほどきを受けて以来、今日に至るまでクラシック、ジャズ、ポップスなどジャンルの枠を超えたプレイヤーとして活動。

また、作曲家、編曲家としても卓越したセンスと技術に各方面から称賛を得ている。

ギター音楽大賞コンクールをはじめ、日本国内外で数々の賞を受ける。2014年よりパリ・エコールノルマル音楽院にて研鑽を積み、演奏家ディプロムを満場一致の首席で取得。

2018年にはリール高等音楽院にてジュディカエル・ペロワの元でフランス国家演奏家資格を取得。リール国際ギターフェスティバルにゲストとして出演し最優秀ソリストに選出される。これに伴い、パリ国際ギターフェスティバルに出演。その後、パリ地方音楽院JAZZ科を満場一致の首席で卒業。

パリ近郊のヴァル＝ド＝マルヌ県地方音楽院にて、ギター科講師を務める。

2021年10月にファーストアルバム「Sur le moment」をリリース。

現在は、日本に拠点を移し、引き続き活動の幅を広げている。

ホームページ <https://gensukekanki.com>

自己アピール

私はギターという楽器が大好きです。もちろん音色や見た目も好きなのですが、一番の理由は、今までの人生において、この楽器にいくつもの美しい景色、新しい世界を経験させてもらえたということです。

そうした経験は何事にも代えることができません。音楽に与えてもらった感動や、演奏家として活動する中で出会えた素晴らしい方々など、挙げていくとキリはありません。ギターと向き合ってきた自分の人生を振り返ると、本当に貴重な体験をさせて貰えたと思います。未来もきっとギターと共に楽しんでいけると信じています。

だからと言って世界中の全ての人にギターを好きになって欲しいというわけではなく、本当はそれはそれで幸せなことですが…。

自分がギターを、音楽を通して経験したことが、世の中の役に立てば、

という思いをもって演奏活動をさせて頂いています。

情報が溢れ、凄まじいスピードで流れていく現代社会において、音楽を媒介として触れることのできる世界は人々の生活の拠り所になり、そして希望になると信じています。

アウトリーチ活動では、音楽によって多くの人と触れ合えると思うと、とてもワクワクします。これまでに私がギターと共に歩んできた人生が、様々な背景を持つ方々と交錯する瞬間、そこには音楽があります。

一人で演奏しているだけでは得られない「何か」が、その瞬間にしか現れない新しい音楽をつくっていくのだと思います。

そんなことを考えていると、今すぐにでもギターを持って演奏しに行きたくなってくるのです。

この事業でできること、挑戦してみたいこと

自分のバックグラウンドを活かして多様なジャンル、音楽の在り方を発信できたらと思っています。クラシック、ジャズ、ポップス、民族音楽など、ジャンルを一つに絞るのではなく、多様な音楽性が混ざり合って楽しめるような企画を考えています。それに伴い、音楽をより多角的に、深く捉えることができるよう、アクティビティを通して伝えていきたいと思っています。これらのアクティビティにおいては、音楽を能動的に捉えることを主軸に起き、身体をつかってリズムを感じたり、曲を色々な視点で聴いてみると、対象者と音楽との距離がより近くなるようなものを用意しています。

具体的には、各国の舞踏のリズム（サンバ、フラメンコ等）を取り

上げ、そのリズムに合わせて歩いたり、手拍子したり、実際に身体を動かして音楽を感じ、演奏を聴く姿勢や場所を変えながら、聴こえ方の変化を体感してみる、といったアクティビティも用意しています。

元々、この事業を知る前より、文化が多くのコミュニティにリーチすれば、社会はより豊かになるのでは、との思いがあり音楽を通して多様な人の生活の場に文化を届けられるアウトリーチ活動は、自分の音楽家としてのやりがいと一致しています。

出来るだけ多くの人々と音楽を共有し、自分も学びを得て、未来に向けて成長していけるような活動を行っていきたくと思っています。

演奏可能プログラム

クラシック

チェロ組曲：J.S Bach

ブラジル民謡組曲：H.Villa-Lobos

アルハンブラの思い出：F.Tarrega

エストリアータ：M.M.Ponce

魔笛の主題による変奏曲：F.Sor 等

ジャズスタンダード（クラシック・ギター編曲）

All the things you are、My foolish heart、いつか王子様が 等

映画音楽（クラシック・ギター編曲）

ひまわり、Over the rainbow、禁じられた遊び、黒いオルフェ、私のお気に入り 等

日本の歌謡曲

上を向いて歩こう、愛燦燦、卒業写真 等

6 Artist File

Kameha, Percussion Duo



© ayane shindo

カメハ

(かめは)

●ジャンル

パーカッションデュオ

●所属マネジメント

株式会社ノジリスタジオ

〒332-0011

埼玉県川口市

TEL : 048-222-4293 FAX : 048-224-8280

E-mail : nojiri.studio@gmail.com

■担当マネージャー

野尻 小矢佳

●アーティスト在住地

埼玉上尾市

●アーティスト出身地

[永野 雅晴] 愛媛県松山市

[永野 仁美] 東京都中野区

プロフィール

2017年結成、デビューライブを行う。

現代音楽コンクール「競楽」本選出場、Percussive Arts Contest 第2位

永野 雅晴 Masaharu NAGANO

愛媛県出身。東京藝術大学院修了。

東京藝術大学卒業時に同声会賞受賞。その年の同声会新人演奏会に出演。

2016年イタリア国際打楽器コンクール、スネアドラムB部門最高位、2022年イタリア国際打楽器コンクール、スネアドラムC部門2位。第12回現代音楽コンクール「競楽」において、審査委員特別奨励賞を受賞。林英哲風雲の会としてヨーロッパツアーに参加。祝祭大劇場や楽友協会、またベルリンフィルハーモニーなど、12ヶ所でソリストとして和太鼓を演奏する。また、同じくソリストとして群馬交響楽団と共演。

「竜とそばかすの姫」他、数々の劇伴のレコーディングに参加。

パーカッションデュオ「カメハ」、パーカッションアンサンブルグループ「りずむふあーむ」メンバー。

永野 仁美 Hitomi NAGANO

東京都出身。3歳よりピアノ、13歳より打楽器を始める。私立吉祥女子中学・高等学校を経て、東京藝術大学卒業、同大学院修了時に大学院アカンサス音楽賞を受賞。

2007年、第12回KOBE国際学生音楽コンクール奨励賞受賞。2012年、第7回安倍圭子国際マリンバアカデミーを受講、選抜者によるプレミアムコンサートに出演。2012-2014年、東京藝術大学内においてオーディション選考による室内楽定期演奏会及び木曜コンサートに出演（打楽器三重奏として）。2014年、万里の長城杯入賞。2016年および2020年、現代音楽コンクール「競楽」ファイナリスト。

多数の新曲初演を始め、ソロ、アンサンブル、演劇、レコーディングやライブなどさまざまな形態・ジャンルで演奏活動を行う他、訪問演奏や音楽教室、吹奏楽部の指導、音楽療法のアシストなど、教育や福祉に関わる音楽活動を精力的に行う。

パーカッションデュオ「カメハ」、パーカッションアンサンブルグループ「りずむふあーむ」、ピアノ・フルート・チェロ・打楽器のカルテット「The Circle」メンバー。

<https://naganomasaharu.com>

自己アピール

私たち「カメハ」は、東京藝術大学の同級生から夫婦となり、音楽活動を共にするだけでなく、たくさんの人生経験を共有してきました。

大学では2人ともアウトリーチの授業を選択していたこともあり、在学時より学校や施設などでの演奏経験を積んでまいりました。卒業してからも鑑賞教室をメインとして活動するグループに所属するなど、教育現場での演奏活動に数多く携わっています。そんな中子供が産まれてからは、より「広く音楽を届ける」ということに意識を向けるようになりました。

また、大学院で学んだ音楽療法をアウトリーチに取り入れ、対象者に寄り添ったプログラムを心がけています。具体的には、

- ・「対象者理解」のために実施前のヒアリングを丁寧に行う
- ・プログラムの中に緩急をつけ、参加曲目に入りやすくしたり、クールダウンを考慮した構成にする
- ・実施終了後に関係者（学校なら教職員など）と一緒にふりかえりを行う

などのプロセスをアウトリーチでも大切にしています。

こういった活動をする中で大切にしているのは「コンサート会場に足を運ぶことが難しい人、機会がない人に音楽のワクワクを伝えたい」ということです。私たちが演奏している打楽器は特に、子供の時から多くの人が身近に感じる楽器でもあり、また音の出る瞬間が見た目にも分かりやすい楽器です。それでも、普段はあまり主役にならないので、「打楽器だけのコンサート」に足を運ぶ機会はなかなか無いと思います。そんな打楽器の演奏を間近で観て、聴いてもらい、一緒に参加してもらう。アウトリーチを通して、音楽を聴く楽しさを感じてもらいたいのはもちろんですが、自己表現の材料の一つにでももらえたり、また心がほんの少しでも揺れ動く経験になれば、とても嬉しく思います。

付き合いの長い2人だからできる息の合った演奏やトークで、たくさんの人と楽しい時間を過ごせるよう、精一杯取り組んでまいります。

この事業でできること、挑戦してみたいこと

導入から終わりまでどのように気持ちを持っていくか、どう感じて欲しいか、ということを考えながらプログラムを構成します。大きな枠組みとしては以下のような形を定型にしています。

【つかみ】

派手な太鼓の曲で華々しく始まる時もあるれば、大きな音が苦手な方が多いような現場では逆に小物楽器のアンサンブルやソロで始める場合もあります。

【楽器紹介】

身近な打楽器、例えばタンバリンやトライアングルなど、子供の時に見たり触ったりしたことがあるような楽器を使って、あまり知られていない一面を引き出すようなオリジナル曲を演奏します。

【参加コーナー】

手拍子や手作り楽器など、その場に応じた参加方法と一緒に音楽を作り上げます。この前にボディパーカッションの曲を演奏したり盛り上がる曲で手拍子を入れてもらうなど、参加コーナーに入りやすくなるような流れを作ります。

簡単なリズムアンサンブルをしたり、曲に合わせて楽器を鳴らしたり、グループワークで発表し合ったり、さまざまなパターンを考えています。

【クールダウン】

参加コーナーの後にクールダウンを設けることで、再び演奏を聴く気持ちになるようにしています。発散とリラクスのバランスを取れるよう心がけています。

【フィナーレ】

どのような気持ちで帰ってもらいたいのか、どのような気持ち、学びを残すことを目的にしているかによって最終曲目を決めます。

普段はこのような枠でプログラムを考えています。

演奏曲目は、打楽器オリジナル曲、クラシックなどのアレンジ、自作曲、アニメやポップスなど幅広いジャンルを取り揃えています。

本事業でももちろんこの枠組みを参考としつつ、新しい試みをどんどん取り入れていきたいと思っています。特に、これまで行ったことのない場所、演奏したことのない環境へ赴くことがあると思います。その際には、思い切ったクラッシュアンドビルドを厭わずに、人とのやり取りの中で生まれたアイデアを大切にしていきたいと考えています。

演奏可能プログラム

【クラシック】

E・サティ：ジュ・トゥ・ヴ
C・ドビュッシー：アラバスク第1番、亜麻色の髪の乙女
F・ショパン編L・ゴドフスキー：子犬のワルツ

【小物楽器フューチャー】

永野雅晴：ダブル（小太鼓デュオ）
永野雅晴：ブー（小太鼓デュオ）
永野雅晴：タンブロック（タンバリンとウッドブロックのデュオ）
永野雅晴：ヘヴィーベッカー（タンバリンとカホンのデュオ）
永野雅晴：コスモス（トライアングルのデュオ）

永野雅晴：ハンドシェイク（ボディパーカッションのデュオ）
永野雅晴：スピットファイア（マルチパーカッションのデュオ）

【鍵盤打楽器オリジナル】

E・セゾルネ：ハムシン
M・テイラー：ラプソディー
I・トレヴィノ：2 + 1

【和太鼓】

永野雅晴：雨過天晴
水野修孝：鼓動

7 Artist File

Modétro Saxophone Ensemble, Saxophone Quartet



Modétro Saxophone Ensemble

(モデトロ・サクソフォン・アンサンブル)

●ジャンル

サクソフォン四重奏

●所属マネジメント

株式会社プロ アルテ ムジケ
〒112-0013

東京都文京区音羽 1-20-14 MBS 音羽ビル 5F
TEL : 03-3943-6677 FAX : 03-3943-6659
E-mail : pam@proarte.jp

■担当マネージャー

望月 春花

●アーティスト在住地

[飯塚 恭平 (ソプラノサクソフォン)] 東京都練馬区
[西田 剛 (アルトサクソフォン)] 埼玉県越谷市
[森田 奈旺 (テナーサクソフォン)] 東京都立川市
[歌頭 諒 (バリトンサクソフォン)] 埼玉県春日部市

●アーティスト出身地

[飯塚 恭平 (ソプラノサクソフォン)] 神奈川県座間市
[西田 剛 (アルトサクソフォン)] 長野県長野市
[森田 奈旺 (テナーサクソフォン)] 埼玉県さいたま市
[歌頭 諒 (バリトンサクソフォン)] 栃木県真岡市

プロフィール

2021年結成。「Modétro」は、「modern (現代風)」と「rétro (古風)」を合わせた造語。バロックから現代を網羅し、その魅力をサクソフォンで伝えたい、という意を込めている。

アウトリーチでは優れたコミュニケーション能力を発揮して子どもたちに音楽の魅力を伝え、コンサートでは多岐にわたるレパートリーと小気味良いお話で会場を沸かせる、聴衆と共に時空を遊ぶサクソフォン・カルテットである。アウトリーチの様子はTBSの情報番組にて全国に放送された。

2021年に『Realize』をN.A.Tよりリリース。2022年にはあづみの新進音楽家コンサート 2022に出演。

令和元年・3年度 (一財) 地域創造・公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業長野セッション派遣アーティスト。令和5・6年度公共ホール音楽活性化事業登録アーティスト。

公式 Twitter : <https://twitter.com/ModetroEnsemble>

ソプラノサクソフォン 飯塚 恭平 Kyohei IIZUKA

中央大学理工学部を経て、尚美ミュージックカレッジ専門学校を卒業。同校コンセルヴァトアールディプロマ科に進学。ディプロマ科在学中オーディション合格者による優秀者推薦演奏会に2年連続出演。

2020年に第1回リサイタルを開催。オーケストラや吹奏楽のエキストラとして演奏会に参加、メディアへの出演等様々な演奏活動を行う。

サクソフォンを大和田雅洋、故原博巳、田村真寛、三宅祐人の各氏に師事。

アルトサクソフォン 西田 剛 Go NISHIDA

国立音楽大学卒業。ソリストとして名古屋フィルハーモニー交響楽団 (指揮：川瀬賢太郎) と共演。客演奏者として東京フィルハーモニー交響楽団、群馬交響楽団、東京吹奏楽団等の公演に出演を重ねる。2018年プラスエンターテイメント「ワンピース音楽」、2021年には原作1000話記念特別企画「ONE PIECE おとまつり」出演。クラシック以外にも映画音楽のレコーディングやミュージカルなど様々な分野で演奏活動を展開。

テナーサクソフォン 森田 奈旺 Nao MORITA

国立音楽大学卒業、国立音楽大学大学院音楽研究科修士課程修了。第10回横浜国際音楽コンクールにおいて最高位 (第2位) 受賞、第20回万里の長城杯国際音楽コンクールでは第2位及び理事長賞をそれぞれ受賞。現代音楽の演奏、新曲初演、CDレコーディング等を軸に活動する。

サクソフォンを雲井雅人、林田和之、坂東邦宣の各氏に師事。(株) スター楽器 サクソフォン講師。

バリトンサクソフォン 歌頭 諒 Ryo KATO

昭和音楽大学卒業。国際的サクソフォニストの武藤賢一郎氏が主宰する「SAXIDEA」に参加。2019年に『reborn』をN.A.Tからリリースし、音楽雑誌『音楽現代』の推薦盤に選ばれる。

2022年には出身地である真岡市の若手演奏家支援事業に採択されリサイタルを開催。佐渡裕監修「富士山河口湖音楽祭」や県庁・市庁舎、メディアでの演奏など全国各地で演奏する。

東京サクソフォンオーケストラ団長。

自己アピール

私たちは2021年度地域創造公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業（以下フォーラム）に参加し、小・中学校でのアウトリーチと地域でのコンサートに出演しました。

フォーラムではアウトリーチプログラムをつくるために、朝から晩まで頭から湯気が出るほど悩みました。「私たちがサクソフォンを通して何を伝えたいのか」を考えるため、まず自分自身がサクソフォンを始めたきっかけやどうしてこの道を選んだのかを深く掘り下げる必要がありました。その結果、4人の原点にあるものはクラシック音楽とアンサンブルの楽しさであり、それをプログラムを通じて伝えることを決めました。

クラシック音楽は、子どもたちにとって少し距離感があるものだと感じています。そのため、まずは子どもたちが参加しやすい空間づくりを第一に考えました。また一方的ではなく、子どもたちからも意見をもらえるような仕組みにしたいと思い参加者が能動的に参加できるプログラムを考えました（内容については後述しております）。実際にアクティビティを実施したところ、手を挙げてくれる子が多くいたり、演奏後も鳴り止まない拍手を受けたりと、私たちの想像以上の反応をたくさんもら

いました。休み時間に私たちの控室までコミュニケーションをとりに来てくれたことが印象に残っています。

アウトリーチとコンサートを経て私たちは「聴いている人との壁をすぐ取り払い、音楽との距離感を縮められること」が強みだと思いました。その時のご縁が未だに続いていることをとても嬉しく思っています。

クラシック音楽とアンサンブルの楽しさを再認識した私たちは「サクソフォン四重奏のオリジナル作品を演奏し続けること」を第一の活動方針にしました。サクソフォン四重奏の魅力はなんと言っても、同じ仲間の楽器が4本揃ったときの見た目の効果やどこでも演奏できる機動力、そして美しく迫力のあるハーモニーです。サクソフォン四重奏のオリジナル作品はこれらの特徴が分かりやすく表現されています。私たち4人が惹かれたこれらの魅力は、どんな人の心にも響くはずだと信じています。

私たちは結成3年目の新しいグループです。それぞれが持つ個性と、何より音楽とサクソフォンを愛する気持ち、そして新生グループだからこそ柔軟性を武器に、全国各地でサクソフォン四重奏の魅力を伝えていきたいです。

この事業でできること、挑戦してみたいこと

■そもそもサクソフォンってなに？

サクソフォンは主に金属で構成されていますが木管楽器（フルートやクラリネットなど）の仲間です。葦で出来ているリードという薄い木を震わせて音を出すため、木管楽器に属しています。

この楽器は、吹奏楽において木管楽器と金管楽器（トランペットやトロンボーンなど）の橋渡しを目的に作られました。またパーツは600個ほど使われており、楽器というよりも精密機械に近いかもしれません。

金ピカで見た目もカッコいいサクソフォン！直接触れられるアクティビティもあります。

■アウトリーチアクティビティ

【サクソフォンアンサンブルの楽しさ】をテーマに2つのアクティビティを用意しています。

1. 『想像してみよう！』

3つの要素から1つずつ選んでもらい、作ったシチュエーションの音楽を想像してもらうアクティビティです。

- ① 主役を決める（ネズミ、ニワトリ、馬、象）
- ② 感情を決める（喜怒哀楽）
- ③ 動きを決める（歩く、走る、寝る、踊る）

最初に指定してもらった要素を表現した演奏を聴いてもらいます。このように音楽を可視化することによって、まずはイメージを想像しやすい状態にします。それから他の演奏を聴きながら情景を想像したり、自由に想像してもらいながら作品を聴いてもらいます。その際にどんなものが思い浮かんだのかこちらから質問したり、隣の人との意見交換もし

てもらいます。受け手によってそれぞれ違うものが見えてくる面白さを実感できるプログラムです。

2. 『サクソフォンを知ろう！』

サクソフォンという楽器を持ったこと、というよりも見たこともない人が多いと思います。聴くだけではもったいない！もっと身近にサクソフォンを！と思えたアクティビティです。

実際に触ってもらうためのサクソフォンを一台用意しています。そのほかにも、楽器を構成しているパーツ（リード、マウスピース、タンポ、キーなど）に触れてもらいます。重さや硬さ、どんな素材で出来ているのか実際に触ることでしっかり理解できます。日常生活では経験できない体験だと思います。

■コンサートプログラム

サクソフォンはクラシックやジャズ、Jポップ、童謡から演歌まで様々なジャンルの演奏が得意です。過去にはホールのスピーカーから流れる音源に合わせて演奏したこともあります。

知っている曲から知らない曲まで、一緒にアンサンブルをする仲間だから出来る軽快なかけあいと小気味よいお話と共に、楽しんでいただけるコンサートを目指しています。

■挑戦したいこと

「サクソフォン四重奏のオリジナル作品を演奏し続けること」、これが私たちの活動方針です。これを基にアウトリーチプログラムやコンサートプログラムを構築し、老若男女問わず楽しんでいただけるパフォーマンスを作っていきたいです。

演奏可能プログラム

●編曲作品

チャイコフスキー：アンダンテ・カンタービレ
 バッハ：G線上のアリア
 エルガー：ニムロッド
 プッチーニ：オペラ『トゥーランドット』より「誰も寝てはならぬ」
 グリーク：抒情小曲集
 モリコーネ：ニュー・シネマ・パラダイス
 ドビュッシー：ベルガマスク組曲
 マスカーニ：オペラ『カヴァレリア・ルスティカーナ』より「間奏曲」
 ピアソラ：タンゴの歴史より café 1930
 ピアソラ：タンゴの歴史より bordel 1900
 モーツァルト：アイネ・クライネ・ナハトムジーク
 ダニーボーイ

高橋宏樹：アルルのサククス展覧会
 高橋宏樹：ラテンメドレー
 久石譲：Oriental Wind
 グレン・ミラー：Take the A train
 ガーシュウィン：ラブソディ・イン・ブルー
 J.シュトラウス2世：トリッチ・トラッチ・ポルカ
 シャーマン：スーパーカリフラジスティック
 クエクスペアリドーシャス
 リムスキー＝コルサコフ：熊蜂の飛行
 シフリン：燃えよドラゴンのテーマ
 ロジャース：My favorite things
 中西圭三：ぼよん行進曲
 見岳章：川の流れるように
 大野雄二：ルパン三世のテーマ
 三木たかし：津軽海峡・冬景色

●サクソフォン四重奏オリジナル作品

サンジュレー：四重奏曲
 デザンクロ：四重奏曲
 マスランカ：マウンテンロード
 ベルノー：四重奏曲
 パスカル：四重奏曲
 伊藤康英：琉球幻想曲
 プラネル：バーレスク
 吉松隆：アトムハーッククラブカルテット
 イトゥラルデ：ギリシャ組曲
 フランセ：小四重奏曲
 ピエルネ：民謡風ロンドンによる序奏と変奏
 シュミット：四重奏曲
 マスランカ：レシテーションブック
 グラズノフ：四重奏曲
 ボザ：アンダンテとスケルツォ

ほか

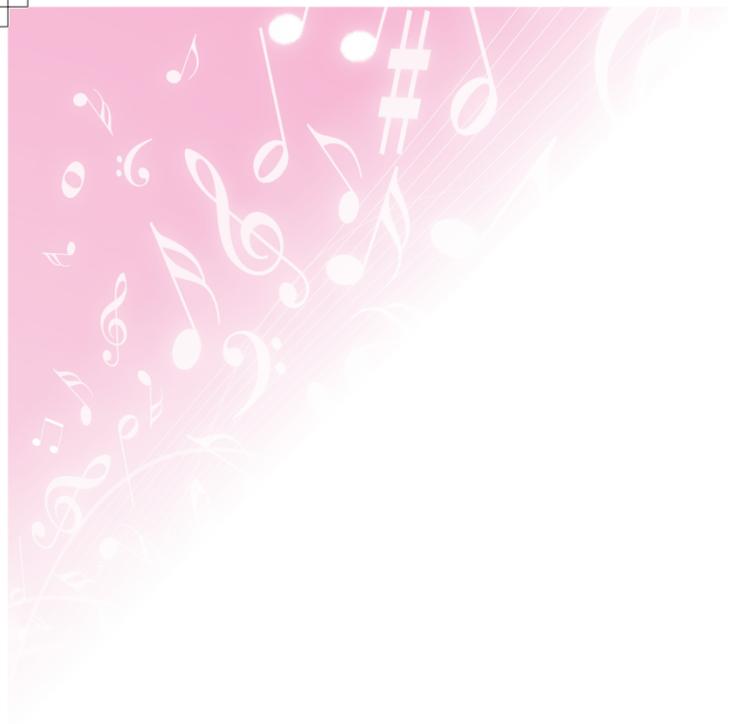
Artists Profile 2023▶2024

公共ホール音楽活性化事業（おんかつ）登録アーティスト プロフィール

発行 一般財団法人 地域創造
〒107-0052 東京都港区赤坂2-9-11オリックス赤坂2丁目ビル9階
Tel:03-5573-4050 Fax:03-5573-4060

協力 一般社団法人 日本クラシック音楽事業協会
〒141-0022 東京都品川区東五反田5-24-9
五反田パークサイドビル5F
Tel:03-5488-6777 Fax:03-5488-6779

発行日 令和5年4月



一般財団法人 地域創造
Japan Foundation for
Regional Art-Activities

公共ホール音楽活性化事業（おんかつ）

Artists Profile

登録アーティスト プロフィール

2023~2024



一般財団法人 地域創造
Japan Foundation for
Regional Art-Activities

